

2024 年度
【修士課程】

早稲田大学大学院文学研究科
専門科目

入学試験問題
※解答は別紙（横書）

I. 以下の設問 1 から 15 に関して、それぞれ最も適当な選択肢を a)～e) の中から 1 つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

1. 学習された行動は消去手続きによって減弱するが、多くの場合、元の学習に関する記憶が消失するわけではないと考えられている。現在の理論的立場においてこの考えの実験的証拠として扱われる現象として、不適切なものはどれか。

- a) 復元 (renewal)
- b) 消去からの保護 (protection from extinction)
- c) 自発的回復 (spontaneous recovery)
- d) 復活 (resurgence)
- e) 復帰 (reinstatement)

2. Pearce-Hall モデル (Pearce & Hall, 1980) と Mackintosh モデル (Mackintosh, 1975) はいずれも、条件刺激 (CS) の連合可能性が学習により変化することを前提としている。各モデルについて記述した文章として不適切なものはどれか。

- a) Mackintosh モデルは、ある CS が無条件刺激 (US) に対してもたらす予測と実際の US 強度との誤差すなわち予測誤差が、その場に存在する他の刺激が生む個々の予測誤差のいずれよりも小さい場合に、当該 CS の連合可能性が上昇することを予測する。
- b) Pearce-Hall モデルは、ある CS とその場に存在する他の全ての刺激が生む全体的な予測と実際の US 強度との誤差が大きいほど、当該 CS に対する連合可能性が上昇することを予測する。
- c) Pearce-Hall モデルは Hall-Pearce 負の転移効果を説明することができるが、Mackintosh モデルはできない。
- d) Mackintosh モデルは CS 先行呈示効果を説明することができるが、Pearce-Hall モデルはできない。
- e) いずれのモデルも阻止 (ブロッキング) を説明することができる。

3. 道具的条件づけにおいて、変動比率 (VR) スケジュールは変動時隔 (VI) スケジュールよりも高い反応率を生みやすいことが知られる。この原因はどのように考えられるか、最も適切なものはどれか。

- a) VR スケジュールでは VI スケジュールより強化率が高くなるため。
- b) VI スケジュールでは反応率と強化率が相関するが、VR スケジュールではこの相関が弱い。
- c) VR スケジュールでは、強化対象以外の行動が偶然強化される可能性が VI スケジュールに比べ高い。
- d) VR スケジュールでは、スケジュールの特性として、短い反応間隔を持った反応が強化されやすい。
- e) VI スケジュールでは、スケジュールの特性として、長い反応間隔を持った反応が強化されやすい。

4. ヒトの感覚の性質として最も不適切なものはどれか。

- a) 異なる色の組み合わせは、対比だけではなく同化も生じうる。
- b) 感覚モダリティ間の統合には連合野が重要な役割を果たす。
- c) 聴覚であってもプライミングの影響を受けることがある。
- d) 嗅球の多くの神経細胞は視床を介さずに大脳皮質へと投射する。
- e) 一般に感覚の強さは刺激の強さに対して正比例する。

5. 言葉を聞いて理解するために重要な脳部位として最も適切なものはどれか。

- a) 外側膝状体
- b) 孤束核
- c) 紡錘状回
- d) ウェルニッケ野
- e) マイネルト基底核

6. 海馬だけを損傷した後に起きうる症状として最も不適切なものはどれか。

- a) 前向性健忘を発症した。
- b) 前日に食べた食事を忘れることが多くなった。
- c) 毎日乗っていた自転車の乗り方を忘れてしまった。
- d) 人の顔の記憶が困難になった。
- e) 新しい出来事を覚えられなくなってしまった。

7. 国際生活機能分類における健康状態の構成要素のうち、不適切なものはどれか。

- a) 心身機能・構造
- b) 活動
- c) 参加
- d) 環境因子
- e) 遺伝因子

8. ウェクスラー成人知能検査（第4版）に含まれる以下の検査のなかで、代替検査にあたるのはどれか。

- a) 知識
- b) パズル
- c) 理解
- d) 符号
- e) 算数

9. Carstensen, L.による社会情動的選択性理論に関連する以下の記述の中で、不適切なものはどれか。

- a) 若年者と比べて、高齢者はポジティブな情報を好んで取り入れるようになる。
- b) 若年者と比べて、高齢者は親しい人との関係に、多くの時間を費やすようになる。
- c) 若年者と比べて、高齢者は情動的な満足を重視するようになる。
- d) 若年者と比べて、高齢者は将来に役立つ努力を行うようになる。
- e) 若年者と比べて、高齢者はすぐに実現する利益の追求を行うようになる。

10. 以下のうち、Big Five 性格特性に含まれないものはどれか。

- a) 開放性
- b) 超越性
- c) 神経症傾向
- d) 調和性
- e) 外向性

1 1. 以下のうち、Piaget, J. が提唱した発達段階に含まれないものはどれか。

- a) 形式的操作期
- b) 前操作期
- c) 退行的操作期
- d) 感覚運動期
- e) 具体的操作期

1 2. 以下のうち、必要な情報を心内で一時的に保持および処理する記憶はどれか。

- a) 感覚記憶
- b) エピソード記憶
- c) 手続き記憶
- d) 展望記憶
- e) 作業記憶

1 3. 社会心理学の実験や概念とその唱道者の組み合わせのうち、不適切なものはどれか。

- a) 同調実験 — Asch, S. E.
- b) 認知的不協和 — Festinger, L.
- c) 傍観者効果 — Milgram, S.
- d) 泥棒洞窟実験 — Shelif, M. & Sherif, C.
- e) 没個性化 — Zimbardo, P.

1 4. 他者の感情や経験をあたかも自分のことのように感じ、理解する資質や能力は何と呼ばれるか。

- a) apathy
- b) empathy
- c) antipathy
- d) psychopathy
- e) sympathy

1 5. 他者の嫌な側面を知って、その人の他の点についても印象が悪くなってしまった。このような現象を最もよく説明するのはどれか。

- a) ハロー効果
- b) バーナム効果
- c) ネガティビティ・バイアス
- d) 初頭効果
- e) ゲイン・ロス効果

II. 次の a) から e) の中から、以下の説明や問いに最も適当な選択肢を 1 つ選びなさい。

1. 測定値から平均を引いて 2 乗した値の平均。

- a) 平均偏差
- b) 分散
- c) 標準偏差
- d) 変動係数
- e) 四分位偏差

2. 分析結果を分析者（とその仲間たち）が享受する分析。

- a) 公的分析
- b) 事例分析
- c) 私的分析
- d) 損益分析
- e) 日記分析

3. 継時に沿って、MCMC による乱数の値を折れ線で表現したグラフ。

- a) トレースプロット
- b) プロットライン
- c) トレースライン
- d) ラインアウト
- e) アウトトレース

4. 確率の確率。

- a) 2 次確率
- b) メタ確率
- c) 頻度論的確率
- d) 事後確率
- e) 主観確率

5. 1 つの観測対象から 2 回測定したデータ。

- a) ダブルデータ
- b) カップルデータ
- c) 双子データ
- d) 対応あるデータ
- e) バランスデータ

6. 実験要因のとりさまざな状態。

- a) セル
- b) 水準
- c) 誤差標準偏差
- d) アンバランス
- e) 要因状態

7. 量を測るデータ。

- a) カウントデータ
- b) 計数データ
- c) big データ
- d) 多変量データ
- e) 計量データ

8. セルが独立な状態からかい離している程度を表す指標。

- a) ピアソン残差
- b) クラメルの変数相関係数
- c) 有意水準
- d) セル効果
- e) クロス効果

9. 変数 i と変数 j の相関係数を i 行 j 列に並べた対称行列。

- a) 共分散行列
- b) 多変量行列
- c) 回帰行列
- d) 積率行列
- e) 相関行列

10. 心理学的な仮説を利用して行う因子分析。

- a) 双因子分析
- b) 3 相因子分析
- c) 探索的因子分析
- d) 確認的因子分析
- e) 質的因子分析

11. 最頻値の性質で正しいのはどれか。

- a) 外れ値の影響を受けやすい。
- b) 比率尺度のデータでは求められない。
- c) 名義尺度のデータでは求められない。
- d) 順序尺度のデータでは求められない。
- e) 階級幅を変えると値が変化する場合がある。

12. 有意性検定において起きにくさの程度を予め定めた参照確率であり、0.05 が用いられることが多いのはどれか。

- a) 限界水準
- b) 検定力
- c) 棄却水準
- d) 採択水準
- e) 有意水準

1 3. 互いに無相関なダミー変数を列に、プロフィールを行に配した行列は何か。

- a) 直列表
- b) 直交表
- c) 直接表
- d) 直線表
- e) 直角表

1 4. 後ろ向き研究では、

- a) リスクやリスク比は解釈できない。
- b) リスクは解釈できるが、リスク比は解釈できない。
- c) リスク比は解釈できるが、リスクは解釈できない。
- d) リスクとリスク比は両方とも解釈できる。
- e) どれもでない。

1 5. 全員が同じ問題を受験するのではなく、受験者ごとに最適な問題を瞬時に選び、個々人のレベルにあった問題を出題するテストは何か。

- a) 適切型テスト
- b) 適応型テスト
- c) 即応型テスト
- d) 即答型テスト
- e) 即席型テスト

Ⅲ. 以下の6つの問題から1つを選び、解答欄に文章で答えなさい。

1. 進化と学習について論じよ。ただしその際に以下の3つの用語を全て用いること。生得的行動、準備性、ティンバーゲンの4つの問い。
2. 神経細胞同士が軸索やシナプスを介してシグナルを伝える仕組みを説明しなさい。
3. ヒトが利他的行動をする理由を、Tinbergen, N.の「4つのなぜ」理論に基づいて、1. 発達（個体発生）、2. 機構（メカニズム）、3. 系統発生、4. 機能（適応）の観点からそれぞれ述べなさい。
4. 現代の心理学における行動主義的な立場と認知論的な立場について、それぞれ歴史的背景を含めて説明し、比較考察しなさい。
5. Dutton, D. G.とAron, A. P.の吊り橋実験について説明し、感情の生起に関する理論との関係性を述べよ。
6. 人工ニューラルネットは、教師情報を利用して、どのように学習をするのか。機械学習の仕組みを説明しなさい。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

心理学コース 解答用紙 No. 1

総点

I. 解答欄

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

心理学コース 解答用紙 No. 2

Ⅱ. 解答欄

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	

